

## ○ 総務省告示第 号

電波法施行規則（昭和二十五年電波監理委員会規則第十四号）別表第一号の三第1の表21の項及び第2の表2の項の規定により、電波法施行規則の規定により許可を要しない工事設計の軽微な事項を定める等の件（昭和五十一年郵政省告示第八十七号）の一部を次のように改正する。

令和 年 月 日

総務大臣 高市 早苗

次の表により、改正前欄に掲げる規定の下線を付した部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の下線で付した部分のように改める。

改 正 後	改 正 前												
1 アマチュア局の設備又は装置の工事設計の全部又は一部分について変更する場合（設備又は装置の全部又は一部分について変更の工事をする場合を含む。）	1 [同左]												
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="197 325 651 357">工事設計のうち軽微なものとするもの</th><th data-bbox="651 325 1099 357">適用の条件</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="197 357 651 389">[1 略]</td><td data-bbox="651 357 1099 389"></td></tr> <tr> <td data-bbox="197 389 651 619">2 空中線の工事設計</td><td data-bbox="651 389 1099 619">当該部分の全部について削る場合又は改める場合若しくは追加する<u>場合(送信機と空中線間に減衰器を追加する場合を含む。)</u>。<u>ただし、いずれも電波の型式又は電気的特性に変更を来さないこととなる場合(減衰器の追加により空中線電力が低下する場合を除く。)</u>に限る</td></tr> </tbody> </table>	工事設計のうち軽微なものとするもの	適用の条件	[1 略]		2 空中線の工事設計	当該部分の全部について削る場合又は改める場合若しくは追加する <u>場合(送信機と空中線間に減衰器を追加する場合を含む。)</u> 。 <u>ただし、いずれも電波の型式又は電気的特性に変更を来さないこととなる場合(減衰器の追加により空中線電力が低下する場合を除く。)</u> に限る	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1158 325 1610 357">工事設計のうち軽微なものとするもの</th><th data-bbox="1610 325 2065 357">適用の条件</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1158 357 1610 389">[1 同左]</td><td data-bbox="1610 357 2065 389"></td></tr> <tr> <td data-bbox="1158 389 1610 619">2 空中線の工事設計</td><td data-bbox="1610 389 2065 619">当該部分の全部について削る場合又は改める場合若しくは追加する<u>場合(いずれも型式又は電気的特性に変更を来さないこととなる場合を除く。)</u>に限る</td></tr> </tbody> </table>	工事設計のうち軽微なものとするもの	適用の条件	[1 同左]		2 空中線の工事設計	当該部分の全部について削る場合又は改める場合若しくは追加する <u>場合(いずれも型式又は電気的特性に変更を来さないこととなる場合を除く。)</u> に限る
工事設計のうち軽微なものとするもの	適用の条件												
[1 略]													
2 空中線の工事設計	当該部分の全部について削る場合又は改める場合若しくは追加する <u>場合(送信機と空中線間に減衰器を追加する場合を含む。)</u> 。 <u>ただし、いずれも電波の型式又は電気的特性に変更を来さないこととなる場合(減衰器の追加により空中線電力が低下する場合を除く。)</u> に限る												
工事設計のうち軽微なものとするもの	適用の条件												
[1 同左]													
2 空中線の工事設計	当該部分の全部について削る場合又は改める場合若しくは追加する <u>場合(いずれも型式又は電気的特性に変更を来さないこととなる場合を除く。)</u> に限る												
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="197 628 651 660">[3 略]</th><th data-bbox="651 628 1099 660"></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="197 660 651 1378">4 送信機の<u>部品及び当該送信機の外部入力端子に接続する附属装置</u>に係る工事設計</td><td data-bbox="651 660 1099 1378"> <p>次のいずれかの場合に限る。</p> <p>1 空中線電力が20ワットを超え200ワット以下の送信機の部品の工事設計であつて、総務大臣が別に定めるところにより公示する者による、総務大臣が別に定める手続に従つて行つた法第3章の技術基準に適合していることの保証を受けた場合</p> <p>2 次に掲げる条件に適合する<u>場合(前3号に規定する場合を除く。また、空中線電力20ワットを超える送信機の部品の工事設計であつて、総務大臣が別に定めるところにより公示する者による、総務大臣が別に定める手続に従つて行つた無線設備規則の一部を改正する省令(平成17年総務省令第119号)附則第3条第1項の規定による経過措置を受けている無線設備について同令附則第2条に規定する新規則の条件に適合していることの保証を受けた場合であつて、次に掲げる条件に適合する場合を含む。)</u></p> <p>(1) 電波の型式又は空中線電力の指定の変更に伴う場合でないこと。</p> <p>(2) 周波数の指定の変更に伴う場合(水晶</p> </td></tr> </tbody> </table>	[3 略]		4 送信機の <u>部品及び当該送信機の外部入力端子に接続する附属装置</u> に係る工事設計	<p>次のいずれかの場合に限る。</p> <p>1 空中線電力が20ワットを超え200ワット以下の送信機の部品の工事設計であつて、総務大臣が別に定めるところにより公示する者による、総務大臣が別に定める手続に従つて行つた法第3章の技術基準に適合していることの保証を受けた場合</p> <p>2 次に掲げる条件に適合する<u>場合(前3号に規定する場合を除く。また、空中線電力20ワットを超える送信機の部品の工事設計であつて、総務大臣が別に定めるところにより公示する者による、総務大臣が別に定める手続に従つて行つた無線設備規則の一部を改正する省令(平成17年総務省令第119号)附則第3条第1項の規定による経過措置を受けている無線設備について同令附則第2条に規定する新規則の条件に適合していることの保証を受けた場合であつて、次に掲げる条件に適合する場合を含む。)</u></p> <p>(1) 電波の型式又は空中線電力の指定の変更に伴う場合でないこと。</p> <p>(2) 周波数の指定の変更に伴う場合(水晶</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1158 628 1610 660">[3 同左]</th><th data-bbox="1610 628 2065 660"></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1158 660 1610 1378">4 <u>空中線電力20ワットを超える</u>送信機の<u>部品</u>に係る工事設計</td><td data-bbox="1610 660 2065 1378"> <p>次のいずれかの場合に限る。</p> <p>1 空中線電力200ワット以下の送信機の部品の工事設計であつて、総務大臣が別に定めるところにより公示する者による、総務大臣が別に定める手続に従つて行つた法第3章の技術基準に適合していることの保証を受けた場合</p> <p>2 次に掲げる条件に適合する<u>場合</u></p> <p>(1) 電波の型式又は空中線電力の指定の変更に伴う場合でないこと。</p> <p>(2) 周波数の指定の変更に伴う場合(水晶</p> </td></tr> </tbody> </table>	[3 同左]		4 <u>空中線電力20ワットを超える</u> 送信機の <u>部品</u> に係る工事設計	<p>次のいずれかの場合に限る。</p> <p>1 空中線電力200ワット以下の送信機の部品の工事設計であつて、総務大臣が別に定めるところにより公示する者による、総務大臣が別に定める手続に従つて行つた法第3章の技術基準に適合していることの保証を受けた場合</p> <p>2 次に掲げる条件に適合する<u>場合</u></p> <p>(1) 電波の型式又は空中線電力の指定の変更に伴う場合でないこと。</p> <p>(2) 周波数の指定の変更に伴う場合(水晶</p>				
[3 略]													
4 送信機の <u>部品及び当該送信機の外部入力端子に接続する附属装置</u> に係る工事設計	<p>次のいずれかの場合に限る。</p> <p>1 空中線電力が20ワットを超え200ワット以下の送信機の部品の工事設計であつて、総務大臣が別に定めるところにより公示する者による、総務大臣が別に定める手続に従つて行つた法第3章の技術基準に適合していることの保証を受けた場合</p> <p>2 次に掲げる条件に適合する<u>場合(前3号に規定する場合を除く。また、空中線電力20ワットを超える送信機の部品の工事設計であつて、総務大臣が別に定めるところにより公示する者による、総務大臣が別に定める手続に従つて行つた無線設備規則の一部を改正する省令(平成17年総務省令第119号)附則第3条第1項の規定による経過措置を受けている無線設備について同令附則第2条に規定する新規則の条件に適合していることの保証を受けた場合であつて、次に掲げる条件に適合する場合を含む。)</u></p> <p>(1) 電波の型式又は空中線電力の指定の変更に伴う場合でないこと。</p> <p>(2) 周波数の指定の変更に伴う場合(水晶</p>												
[3 同左]													
4 <u>空中線電力20ワットを超える</u> 送信機の <u>部品</u> に係る工事設計	<p>次のいずれかの場合に限る。</p> <p>1 空中線電力200ワット以下の送信機の部品の工事設計であつて、総務大臣が別に定めるところにより公示する者による、総務大臣が別に定める手続に従つて行つた法第3章の技術基準に適合していることの保証を受けた場合</p> <p>2 次に掲げる条件に適合する<u>場合</u></p> <p>(1) 電波の型式又は空中線電力の指定の変更に伴う場合でないこと。</p> <p>(2) 周波数の指定の変更に伴う場合(水晶</p>												

	片に係る工事設計を削る場合を除く。)でないこと。		片に係る工事設計を削る場合を除く。)でないこと。
[注 略] [2～8 略]		[注 同左] [2～8 同左]	
備考 表中の [ ] の記載は注記による。			